

**WS
1**

家族から考える日本社会

【定員】30名 【受講料】2年・1年会員ともに15,440円 聴講生16,730円

『政治・経済・社会』【ワークショップ】政治・社会 【時間】 毎回15時00分～17時00分（計10回）

概要

変化する家族、多様化する家族を、個人・家族・地域社会の関係、人々の規範と価値観の固定性や変化の可能性、関連する法・制度から見ることで、今日の日本社会を考える。家族について基本的なデータを読んで議論したり、文献資料をもとに社会学的なものの見方を土台に読み解いていく。また、「Always 三丁目の夕日」（家族の変化）、「そして父になる」（親子とは）、「PERFECT DAYS」（高齢期の生き方）など映画を題材に、テーマについての理解を深めたい。

回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/2(水)	川崎市 生涯学習 プラザ	オリエンテーション 家族の現状をデータから考える (1) 「人口統計資料集」、「出生動向基本調査」を中心に	慶應義塾大学名誉教授 渡辺 秀樹
2	10/9(水)		家族の現状をデータから考える (2) 「人口統計資料集」、「出生動向基本調査」を中心に	
3	10/23(水)		無縁社会の生き方 (映画「PERFECT DAYS」、プレヒト「礼儀知らずの老女」『暦物語』) *	
4	10/30(水)		家族と地域の変化 (「Always 三丁目の夕日」)、親子関係の多様化 (「そして父になる」) **	
5	11/20(水)		少子化をどう考える? (『三田評論』2024.3.特集「変わる家族と子育て」)	
6	11/27(水)		育児・子育て社会に向かって (『ワンオペ育児』からの脱出) ***	
7	12/11(水)		結婚・離婚・再婚: 同性婚、選択的夫婦別姓 ****	
8	12/18(水)		結婚・離婚・再婚: ステップファミリー、共同親権 *****	
9	1/15(水)		雑誌『コミュニテイ』(no.168, 2022) 特集「多様な人が共存する社会と家族のありかた」	
10	1/22(水)		総括的討論 —これからの家族と社会のあり方—	

連絡
事項

資料 * 渡辺秀樹「置き去りにされる子どもたち」『いま、この日本の家族』(弘文堂)の渡辺執筆部分。 ** 浜日出夫『戦後日本社会論』(有斐閣)。 *
** 『三田評論』2024.3.特集「変わる家族と子育て」*** 阪井裕一郎『結婚の社会学』(ちくま新書)4章。**** 野沢慎司・菊地真里『ス
テップファミリー—子どもから見た離婚・再婚』(角川新書)。資料は初回に配布します(資料代別途集金)。映画の視聴については、オリエンテーション(初
回)で説明します。